

## 住宅・建築物耐震診断結果報告書

申請者氏名			
所在地	光市		
診断者	氏名	( ) 級建築士 ( ) 登録第	号
			印
	建築士事務所名	( ) 級建築士事務所 ( ) 知事登録第	号

下記のそれぞれについて構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価を記入し、その根拠となる書類を添付すること。安全性の評価は「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針（告示第184号）」別添第1建築物の耐震診断の指針の別表第1又は別表第6による評価とする。

## (1) 木造の建築物の場合

上部構造評点		値 _____
該当欄に ○印	上部構造評点に係る指標	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
	上部構造評点が 0.7未満の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
	上部構造評点が 0.7以上1.0未満の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
	上部構造評点が 1.0以上の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

## (2) 鉄筋コンクリート造等の建築物の場合

構造耐震指標及び保有水平耐力		I s 値 _____	q 値 _____
該当欄に ○印	構造耐震指標 (I s) 及び保有水平耐力 (q) に係る指標	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性	
	① I s が 0.3 未満の場合又は q が 0.5 未満の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	
	② ①及び③以外の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	
	③ I s が 0.6 以上の場合で、かつ、q が 1.0 以上の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。	